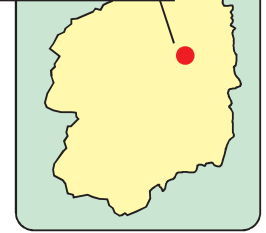


6 ほ場整備を実施した地区の事例をみてみよう！

その1 ほ場整備で労働時間を短縮し、 ブランド野菜づくり 大田原市 金田北部2期

(平成20年度農業農村整備優良地区コンクール農林水産大臣賞受賞地区)

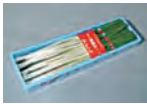
金田北部2期地区



- その1 ほ場整備により、労働時間が短縮（1/3～1/4に短縮）され、**園芸作物に取り組む**ことが出来ました。
- その2 排水がよくなったことで、調整水田がほとんどなく、有効に活用されています。
- その3 事業を契機に、地域のコミュニケーションが深まりました。



那須ブランド野菜への取組（白美人ネギ、
美一なす、那須の春香うど）**雇用も創出**



畜産農家と
タイアップ
(**飼料作物**)



大豆、麦の
作付けアップ

周辺地域も
事業への高まり



地域の連帯感
(農地・水にも取り組む)



担い手への農地集積
(2倍以上の増加)



労働時間の短縮
(1/2以下に)



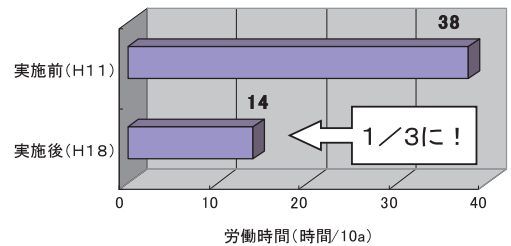
地域の環境改善
(道路、水路、ほ場区画)

経営体育成基盤整備事業(ほ場整備の実施)

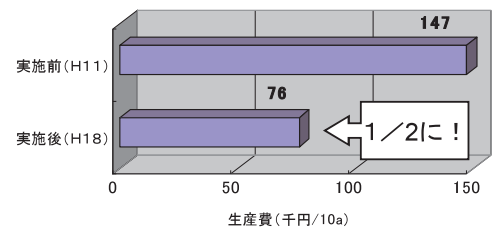
担い手への農地利用集積率

| 実施前 | 目標年度 目標値 | 事業完了時 実績 |
|-------|-------------|-------------|
| 24.2% | 40.5% | 44.0% |

労働時間(水稲)の短縮

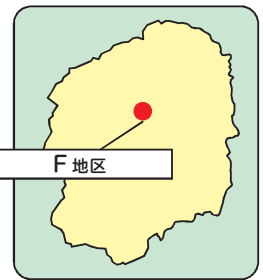


生産費(水稲)の節減

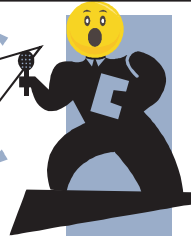




その2 ほ場整備で規模10倍、 スーパー夫婦 塩谷町 F地区



ほ場整備後、夫婦で約50haのほ場を経営する塩谷町のSさん夫婦をお訪ねしました！



ほ場整備の前と後で
どう変わったか
聞いてみました…

なんと、奥さんも
農業機械に乗る
そうです

Q1 経営面積は？

A1 ほ場整備前は、5ha。今は、50ha
です（10倍です）！

Q2 区画の大きさは？

A2 昔は、1区画10a、今は50a。

Q3 どんなものを作っていますか？

A3 米25ha（そのうち飼料米6ha）、
麦19ha、大豆21haです。

Q4 何人で作業していますか？

A4 夫婦2人だけです。❤️

Q5 ほ場整備をして良かったことは？

A5 なんとといっても、農作業の時間が大幅に短縮。田がすべて農道に接し、水管理、草刈り等作業がしやすくなった。

Q6 どうしてこんなに規模拡大できたのですか？

A6 ほ場整備による、労働時間の大幅な短縮、さらに、農業機械の大規模、高性能化で、ここまで拡大できました。

Sさんの農業機械は、忙しいのにもいつもきれい。借りた水田は自分の水田より優先で仕事をするとのことです。この気持ちが、「Sさんなら貸したい」と、人の気持ちを動かし、毎年、規模拡大につながっているのではないのでしょうか……。